

## 令和 2 年度の管理地区（D 地区）における捕獲の実施結果

### 1. 実施方法

文化財保護法に基づく現状変更許可（文化庁許可）及び鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律に基づく許可を得たうえで、加害個体の捕獲による被害軽減を図ることを目的として捕獲を行った。

- ・ 期間：令和 2 年（2020 年）6 月 12 日～令和 2（2020 年）12 月 27 日（上限到達日）
- ・ 捕獲手法：被害地周辺に箱わな、くくりわなを設置
- ・ 捕獲頭数（上限）：全 7 地区で 140 頭
- ・ 捕獲実施者（委託）  
一般社団法人 奈良県猟友会 奈良支部（田原、精華、東市 各地区）、  
柳生支部（東里、狭川、大柳生、柳生 各地区）

### 2. 実施結果

捕獲は、7 地区（精華、田原、東市、柳生、大柳生、東里、狭川 各地区）の管理地区（D 地区）内で行った（図 1）。

本計画における捕獲上限頭数は 140 頭で、令和 2 年（2020 年）12 月 27 日までに、オスが 83 頭、メスが 57 頭、合計 140 頭が捕獲され、捕獲上限数に達した（表 1）。

表 1 雌雄別の捕獲頭数

地区	捕獲頭数		
	オス	メス	計
田原	22	21	43
精華	7	4	11
東市	12	4	16
東里	12	5	17
狭川	7	3	10
大柳生	17	16	33
柳生	6	4	10
計	83	57	140

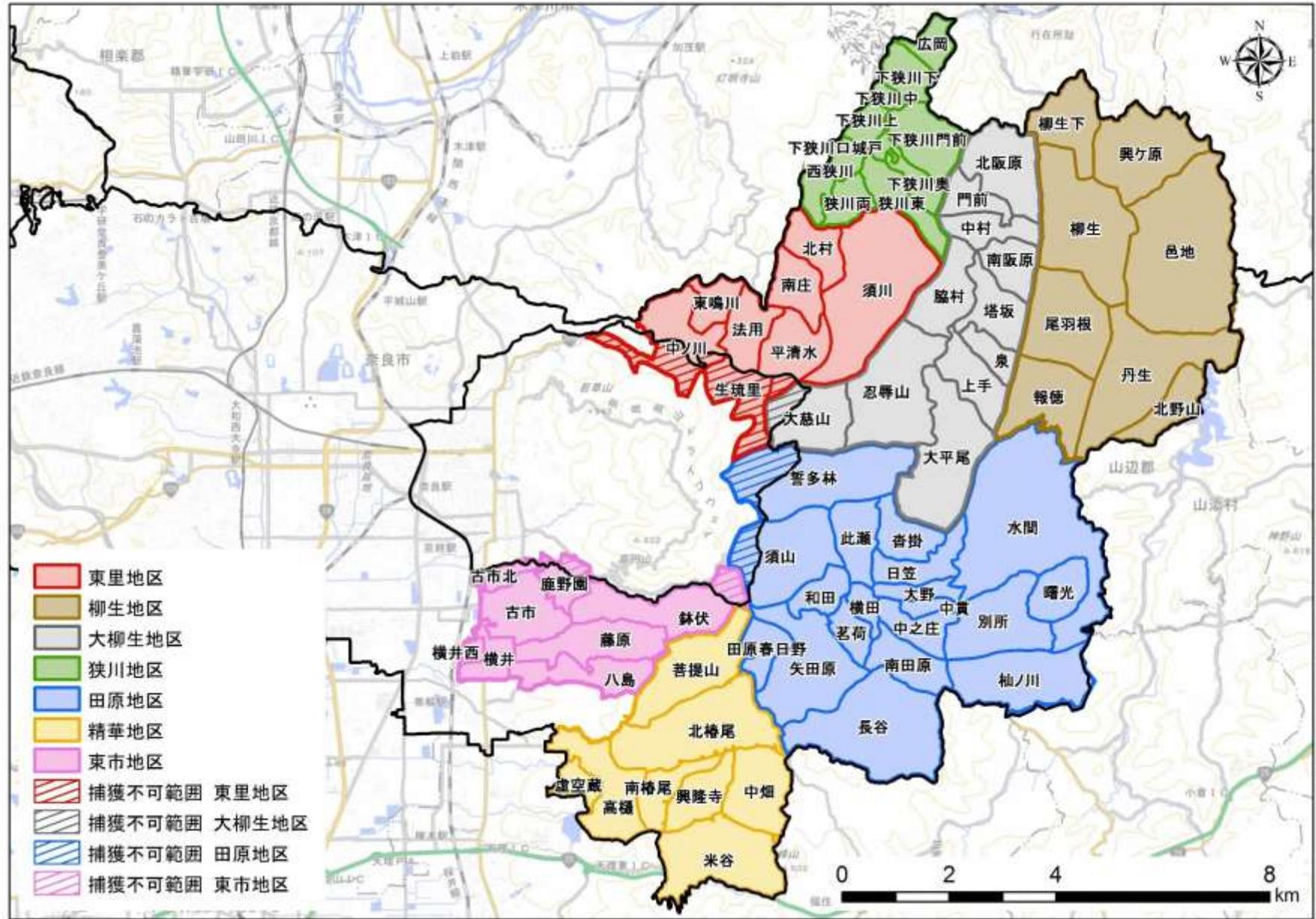


图 1 捕獲実施地区

### 3. 生息状況調査

#### ○調査概要

令和2年（2020年）6月12日～令和2年（2020年）12月27日を集計対象として、捕獲従事者から収集した捕獲作業の情報（わな管理表）からCPUE※（密度指標）を算出した。

※CPUE：Catch per unit effort. 単位努力量あたりの捕獲数。ニホンジカでは生息数の指標となることが知られている。CPUE=捕獲頭数／のべわな稼働日数

#### 【わな管理表の改善】

令和元年度、捕獲実施者が所有するわなについて、正確な作業記録データを収集するため、わなごとに作業の記録を行うための「わな管理表」を作成した。その結果、わなの努力量データの精度については向上したが、集計作業時に、捕獲位置図とわな管理表のわな番号との不整合が見られるなど、整合性の確保にあたって課題が見られた。

このため、令和2年度は、記入項目（表2）をより簡便にしたわな管理表（資料末尾「参考1」）を作成し、捕獲従事者に記入、提出を依頼した。

令和元年度の管理表からの主な変更点を以下に示す。

- ・日ごとの記入、月単位の提出 → 設置期間を記入、作業完了後に提出
- ・管理番号を廃止し、わな設置位置番号のみとした。
- ・捕獲があった場合に、捕獲個体番号を記入する。

表2 わな管理表の記入内容

項目	内容
設置位置番号	わな設置位置図面と整合する番号を記入する。
設置町	わなを設置した町を記入する。
設置期間	わなを設置（稼働）していた期間を記入する。
設置数	「箱わな」、「足くくりわな」の設置基数を記入する。
捕獲日	シカが捕獲された日付を記入する。
捕獲個体番号	捕獲個体番号を記録する。
備考	移設、撤去に関する情報、誘引餌に関する情報等、捕獲に関連する情報を記入する。

## ○調査結果

7地区で箱わなは108基、足くくりわなは54基設置し、合計140頭捕獲された。各わなについて、わな設置期間及び捕獲数、わな稼働日数（わな基数×設置日数）、CPUEを表3、表4に示した。

今年度、箱わなは令和元年度と同程度であり、くくりわなは令和元年度よりも低い値となった。令和元年度以降、わな管理表の導入により、各わなの設置期間がそれ以前に比べ正確に把握できている。平成30年度以前は、のべわな稼働日数が過大であった可能性があるため、参考値として記載した。

CPUEは対象地域の生息密度や、捕獲作業時の誘引餌の有無を受けることから、数値の単純な比較はできないが、参考として他地域の事例を挙げると、本計画対象地の周辺にあたる奈良県北西部（大和郡山市、天理市、大淀町等）における平成29年度のわな猟CPUEは0.08であり（奈良県, 2019）、兵庫県のある地域における箱わなと囲いわなにおける1年間のCPUEは約0.005（わな1基あたり約1.83頭（坂田ら, 2013）を365日稼働したと仮定した場合）であった。これらと比べると、令和2年度の値（0.0084）は奈良県北西部よりも低く、兵庫県のある地域よりも高い値であった。

足くくりわなのCPUEについては、大台ヶ原における足くくりわなのCPUEは、0.04～0.24であった（環境省, 2017）。この値と比べると低い値であった。

表3 対象期間中の箱わなのCPUE

年度	対象期間	捕獲数	のべわな稼働日数	CPUE
R2	R2年6月12日～R2年12月27日	113	13,529	0.0084
R1	R1年7月18日～R2年1月20日	92	11,550	0.0080
H30	H30年5月31日～H31年3月11日	64	36,079	0.0021
H29	H29年7月31日～H30年3月11日	19	5,625	0.0034

表4 対象期間中の足くくりわなのCPUE

年度	対象期間	捕獲数	のべわな稼働日数	CPUE
R2	R2年6月12日～R2年12月27日	27	3,882	0.0070
R1	R1年7月18日～R2年1月20日	48	3,322	0.0144
H30	H30年5月31日～H31年3月11日	45	22,767	0.0020

出典

奈良県（2019）奈良県ニホンジカ第二種特定鳥獣管理計画平成30年（2018年）度モニタリング報告書

坂田宏志・阿部豪・上田剛平（2013）AIゲートを用いた囲いわなによるニホンジカ、イノシシの捕獲効率の向上．第29回日本霊長類学会・日本哺乳類学会2013年度合同大会．セッションID：B2-2．P.87.

環境省（2017）平成28年度大台ヶ原ニホンジカ個体数調整業務報告書

### （3）捕獲個体調査

捕獲個体数、捕獲位置、捕獲個体の性、外部計測値の記録を行い、捕獲個体から下顎を収集した。このうち、性別、齢区分、栄養状態、妊娠・泌乳状態を分析した。

遺伝子解析用サンプルとして筋肉片を採取し、将来分析のための試料として保存した。

